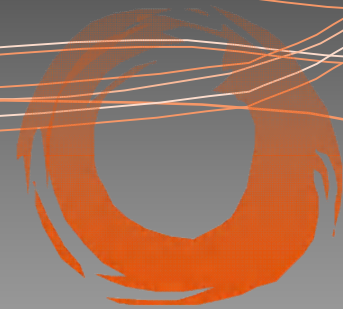


米沢織 残り布を用いた  
リサイクル&リメイク製品・販売

アトリエ フェニックスオープンによる  
米沢織リサイクル事業



福崎真知子

## はじめに

現在、上杉鷹山公が殖産振興し、米沢のメイン産業に育った米沢織が低迷を続けています。

新しい商品開発を手がけることは、今後米沢織が継続していくために必須です。

この度視点を変えた  
「米沢織リサイクル事業」  
について企画いたしました



# 米沢織について

## 特徴①デザイン性の高さ！

- ・女性の服地はイタリアなどに輸出されプリントされた後、逆輸入されている

## ②アイテム数が豊富！

- ・残り布の種類も多く、有効利用を企画すると無制限に開発商品が想定できる



(紅花染め織り、草木染めによる女性の紬の着物、帯、ネクタイ、スカーフ、クロス地など多数の商品群)

## ③袴地生産量は全国一を誇る！

特徴を生かし

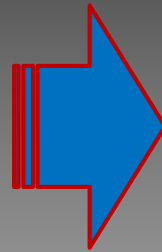
デザイン性の高いリサイクル製品開発！  
今の時代にフィットしたエコライフの推進のため  
米沢織残り布の有効活用を図る



# リサイクル事業

## デザイン性の高い米沢織リサイクル製品開発

ex) エコバック・コースター・クッション・ポーチ・  
エプロン・ブックカバー・服飾のリメイク



写真はイメージです



## 期待される効果

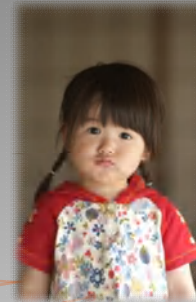
- ①特産品である米沢織を全国発信！  
PR効果を高める



- ②アトリエメンバーの世代間交流の促進

(中高年世代と若い主婦の交流の場としてのアトリエ)

- ③生き生きとした明るい中高年層増加の推進



## 期待される効果一①

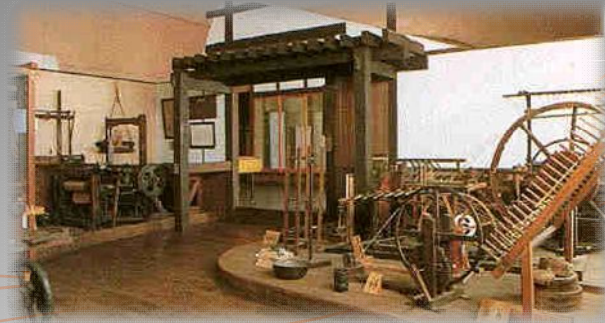
◆特産品である米沢織を全国発信しPR効果を高める

つまり

眠っている米沢織の残り布に新しい生命を吹き込み、小物として商品化することにより米沢織のクオリティの高さを内外に広くPRする

結果的に

米沢織の新商品開発の方向性のきっかけを作り  
低迷している米織業界に明るい兆しをもたらす



## 期待される効果一②

### ◆世代間交流（中高年世代と若い主婦の交流の場）

自宅に閉じこもりがちな、中高年世代と子育て中の若い主婦の交流。子育て中の主婦が子連れで集まり、子供達を連携しながら育てるコミュニティ作り

なぜならば

子育て中の若い主婦には、育児ノイローゼなどの現象が見られることがあるこのアトリエに集まり、先輩や同世代の主婦と交流をはかり、気分転換を兼ねて制作の喜びを味わい、生活に目標が持てるようにする

つまり

明るい家庭づくり：家庭内暴力の減少、家庭円満を目指します！



## 期待される効果一③

### ◆活き活きとした明るい中高年層増加の推進

女性は生来、「針と包丁」を持ったら、何歳になっても、縫ったりお料理を作れる！

そこで

健康で明るい生活の推進

アトリエに通い、目標を持った  
ライフスタイルの提案

結果的に

健康で明るい生活推進により医療費の削減

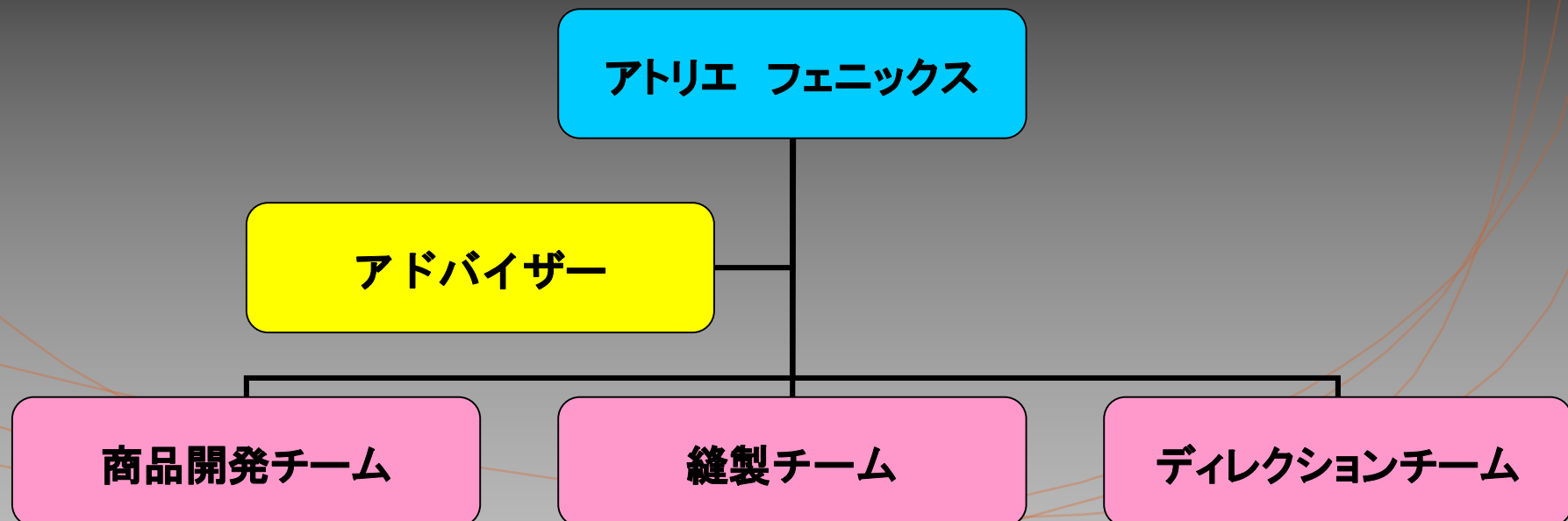




# 事業システムー1

## ◆組織形態

商品開発部と縫製部から成り、  
個人の得意技によりグループを選択する  
例えば若い世代が商品開発したものを、  
中高年女性が量産するなど制作のシステム化を図る



## 事業システムー2

### ◆活動場所

街中の空き店舗を利用したアトリエ



### ◆スキルアップセミナー開催

デザイン性の高い商品を開発するために、  
プロによるセミナーを随時開催し、スキルアップ



更に

プロを招きインストラクターを養成しメンバーの  
指導者としてアトリエのシステム化

# 事業システムー3

## ◆製品開発

デザイン性に優れたおしゃれな小物の開発  
プロによる試作品審査会を開催し、  
価値が高く売れるものを  
ブラッシュアップを重ね商品化する

それを

縫製部：量産体制



## ◆販売システム：ディレクションチーム担当

- ①アトリエでの直接販売
- ②ネットショップによる販売
- ③イベント出展による販売

また、アトリエに来店のお客様が興味を持った場合は、勧誘し  
メンバーとして活動してもらう

# 事業計画

## ◆アトリエ賃貸

スタート時 : コミュニティセンターなど公共の場を利用する  
第2ステップ : 街中の空き店舗を探し、歩いて通える環境を作る

## ◆縫製関係

ミシン : ①刺繍付きコンピュータミシン ¥58,800 × 3台  
②ロックミシン ¥27,800 × 2台  
縫製用品 : 糸、針、レース地、鋏、他縫製用品 ¥83,000  
縫製用作業机 : ¥10,000 × 4台、イス : ¥3000 × 15脚

◆セミナー受講費 講師謝金 : ¥50,000 × 2回 = ¥100,000

---

◆合計申請金額 : 500.000円

人材募集 : 15名前後

事業期間 : 2011年春～

最終目標 : CB事業として製品展開



## さいごに

アトリエ フェニックスの名称は  
この度の、チリの鉱山落盤事故の際用いられた  
救出用カプセル“フェニックス：不死鳥”  
から命名致しました

米沢織がフェニックスの如く、  
また地球も未来永劫継続する事を願って！！！！

ご清聴、誠にありがとうございました

